

自動車排気ガスを規制

段階的に装備を義務づけ

光化学公害は現状の如く大きな問題として、クロロ・フッ素化合物類についてはこのたび運送省令によつて排気ガスの規制が実施されました。これらの原因化合物の中には、炭化水素系化合物があり、また鉛系にも公害と関連しています。

なるとして、

を燃料とする自動車（昭和四三年一月一日以降に製造されたもの）
一ゼゼル車、二轎車、特殊自走車
（建設用、農耕用、軽自動車が除かれます）。排気量千八百CC以上から千CC以下まで、乗用車以外の車等、取り付けた機関が異なりますが、別表のようになります。

新規格登録を受けたもの、新しい基準に適する通輸大臣認定したものを、

なおの排出ガス減少装置を取り付けた自動車の側面には、排出

ガスを減少させる取付けたことを示すステッカーを貼らなければならないことになっていいます。

ガスを減少させる取付けたことを示すステッカーを貼らなければならないことになっていいます。

期限	期限
8・8・31	8・11・30
9・3・31	9・3・31
10・3・31	10・3・31
11・3・31	11・3・31

期しては、国連における大気汚染防止法（モントリオール議定書）の調査の実施、今年三月のアトリック調整による自動車排気ガスの測定と無料整備等を実施しました。

自動車の排気ガスに対する規制は、昭和四十六年から始められ、昭和五十年までを目録とする長期に渡る規制計画がくられました。	排気ガス減少装置とは、点火時期制御方式と触媒伝達方式・排気管から大気中に排出する排物に含まれる炭火灰水、または有害酸化物を有効に減少させる装置）	過期の使用等	
	けりや、おき、けりや、おきに規定	装着	
	あり、この取り付けなければ、自動車走らせるとはできません。		
	川口県	非排出ガス減	
	十二月一日以降に動作した車、昭和五十二年四月一日以降に動作した車		
	川口県	非排出ガス減	

位置の種類	実施の時		
	対象	車種	
大気汚染防止法 式または、 炭反応方式 非排出ガス減 装置の装着	乗用車 ・パス （排気量 ・CC）	1800以上	4
		1600～1800	4
		1000～1600	4
		1000以下	5
		乗用車以外の自動車	4

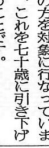
この規制の対象となる車はガソリン車か液化石油ガス（LPG）	昭和四十二年十二月三十一日以前	和四十八年四月一日以降の新車、
-------------------------------	-----------------	-----------------

老後を豊かに

(町 独 自 の 事 業)

敬老年金を引き上げ

敬老年金財団独自の行なっている事業ですが、昭和四十七年度の年金額は前年度に比して、本年度から、これを年額一千万円引き、年齢の人も七十七歳以上の方を対象に行なっており、また、これを七十歳に引き上げるといっています。



原則的には、本人申請を基本としていますが、おしよりのこす。

福祉の向上と福祉の拡充は時代の要求であり、町が重点的に取り組んでいられる問題でもありますが、で、本年十月末日には社会福祉センターも完成し、福祉対策の核としての施設も充実されますので、現実な歩みをもつて、老後が豊かでないかというある福祉行政を推進して行きます。

この敬老年金が受けられる方は本年度から七十歳となり、町に一年以上居住されていることを支給方法は年四回に分けてお届けします。(六月、九月、十月、三月)

七十歳以上の方という年齢的なことを考慮し、役場まで来ていたなどとは大変であり途中の交通



役場機構の紹介

〈⑧ 教育委員会の巻〉

～「力をあわせて能率的に」をモットー～

事務局には總務係、學校教務係、社會教育係があり、學校教務係は總務係を兼務して、教育委員會の議決・歲出・歲入の處理、學校設置、學費管理に關すること、教科内取の取扱、教科圖書の採扱、校長及教師の研・職並に児童・生徒の保健、衛生管理に關すること等を係掌すること、四人で、總務係を兼行し、この他、學校給食、學校勤務等、千四百人計十人で行つてゐます。社會教育係は保長を含む八人で、行なはれてゐるが、おもな仕事としては、公民館圖書の設置、國民社會教育団の育成等に依り、關することから、立財の保護に關するまでを行なつてゐます。

救の黒性、地社會人として、の社會教育の黒性を考へ、教育基本法理念にたがひ、全職員をあげ、能動的をモツとして、に教育行政の推進を圖つてゐます。

○五にあり、電話番は七二〇の四にあり。

なお、お氣づきの點がありましたら、教育委員會が役場副課上（二二八二）へご連絡ください。

の 動 き 1日～3月31日 請願について審査して た。 期二宮小学校増築特 委員会を開催。 年度予算審査特別委員 会。 小学校校体育館建設特別 委員会を開催。	23日 二宮小・一色小卒業式 25日 町女子バレーボール大会を 開催。二宮中体育館で9チ ームにより熱戦がくりひろげら れ、優勝町チーム、準優勝 下町チームでした。 26日 第3期二宮小学校特別委員 会を開催。 27日 都市計画審議会を開催。 消費生活モニター会議を開 催。1年間の活動実績を報告 しました。
	28日 未成牛の指導会反省会を開 催。 29日 町交通安全対策協議会々議 を開催。春の交通安全運動に ついて検討しました。 30日 選挙管理委員会を開催。 町街頭交通指導班打合せ会 議を開催。 農業委員会総会を開催。 31日 町消防団退入団式。17人の 消防団員の方が退入団され ました。

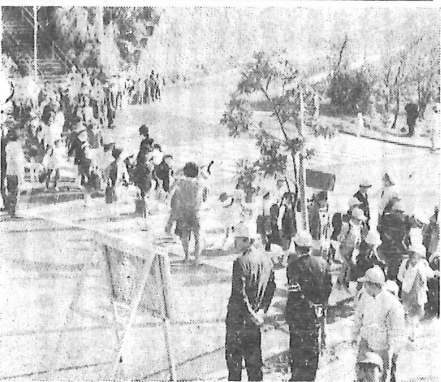
交通安全運動終る

事故は一件軽傷者二人

[illegible]

運動會の事の一つである新交通接触事故に於いた大兄、國兄に対する教育に於ては、月一日、小学校三年生、昨年度より比較すると昨年度の死者は、本年度の死者に比し倍大に減少した。期間中の事故発生は大幅に減少したと云ふことである。

これ、全市民が一体となって、交通安全運動に取り組んだ結果だと思ひますが、運動會期間中だけでなく日、毎日を交通安全事故の少ない町にしたいものです。



5日 経済観光常任委員会を開催 漁港建設についての陳情を審査した。 県道改良特別委員会を開催 第3期県道改良特別委員会を開催。 6日 駅南口改良対策特別委員会を開催。 乳幼児の医療費の助成に因すろ条例特別委員会を開会。 民生委員定例会を開催。ねださき老人の入浴について、	生活保護費の改定等の説明。 7日 第3期二宮小学校増改築特別委員会を開会。 議会運営委員会を開会。 9日 固定資産評価審査委員会を開催。 12日 第1回町議会定例会を開会 (～20日まで) 15日 48年度予算審査特別委員会を開会。 19日 総務企画常任委員会を開会 国鉄運賃値上げ案の撤回を要
--	--

町 の 動 き

3月1日～3月31日

求する請願について審査して
きました。

第3期二宮小学校増改築特別委員会を開催。
20日 48年度予算審査特別委員会を開催。
一色小学校体育館建設特別委員会を開会。

23日 二宮小・一色小卒業式

25日 町女子バレーボール大会を
開催。二宮中体育館で9チ
ームにより熱戦がくりひろげら
れ、優勝町チーム、準優勝
下町チームでした。

26日 第3期二宮小学校特別委員
会を開催。

27日 都市計画審議会を開催。
消費生活モニター会議を開
催。1年間の活動実績を報告
しました。

28日 未成牛の指導会反省会を開
催。

29日 町交通安全対策協議会々議
を開催。春の交通安全運動に
ついて検討しました。

30日 選挙管理委員会を開催。
町街頭交通指導班打合せ会
議を開催。
農業委員会総会を開催。

31日 町消防団退入団式。17人の
消防団員の方々が退入団され
ました。

物造世日国民史、国民書
んで、しはの心をきか
るでた事と再三。これ
と機縁をもつて大坂の生
を著、その餘業を長く後
に伝え、世道を開闢する
に用ひられ、新嘉坡館を設
け、文化の開拓に役立たせ
たまへた。

記念館にすむて働いたをより
目白余吾著書はもとより

以上全稿大分を傾けてあらゆ苦
大正七年五月十八日の時に逝す。
乃等に耐え、三十年の歳月を

費して、巨著の大體を完成した
ものです。その内容が明治天皇
の時代から明治治下の崩壊に至
り、二百数十年の歴史的事を
克明に詳しく表わして一大編
で、まさ近代日を解明する
のによい資料となっていま
す。

蘇峰は臨死前、特に愛れ
山の手の閑静な庭園に枕通
りながら、

二宮町
今昔物語記

その頃、墨頭、書頭、写
等から日常勤の真摯に至る
まで品物が整理され置かれ
てゐた。それは絶頂に値する
念詣あり、日本文学の歴史の
宝庫とすべきであらうです。

私ち二宮町のものによう
な、山の手文化の遺蹟が保存
されているとは町としてのほ
ろもあるんげです。

